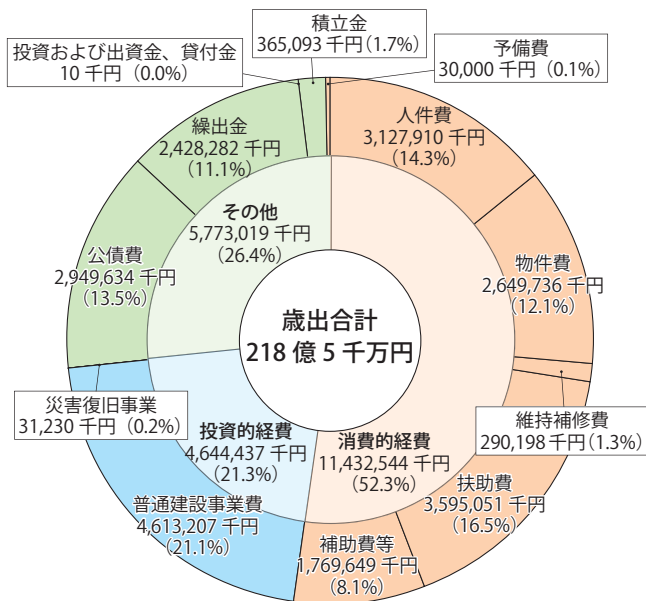


平成 25 年度一般会計当初予算

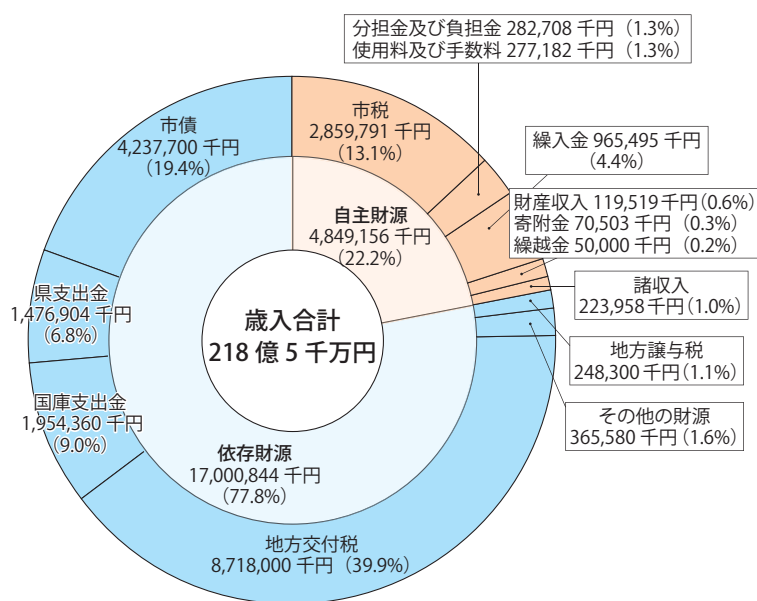
～ 活力に満ち、心豊かでいつも夢と希望のもてる元気な曾於市を創造する充実予算 ～

歳入歳出総額 218 億 5 千万円

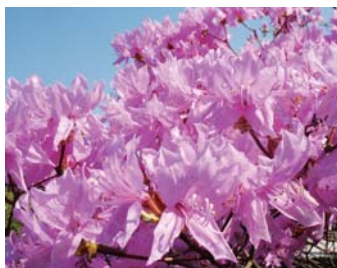
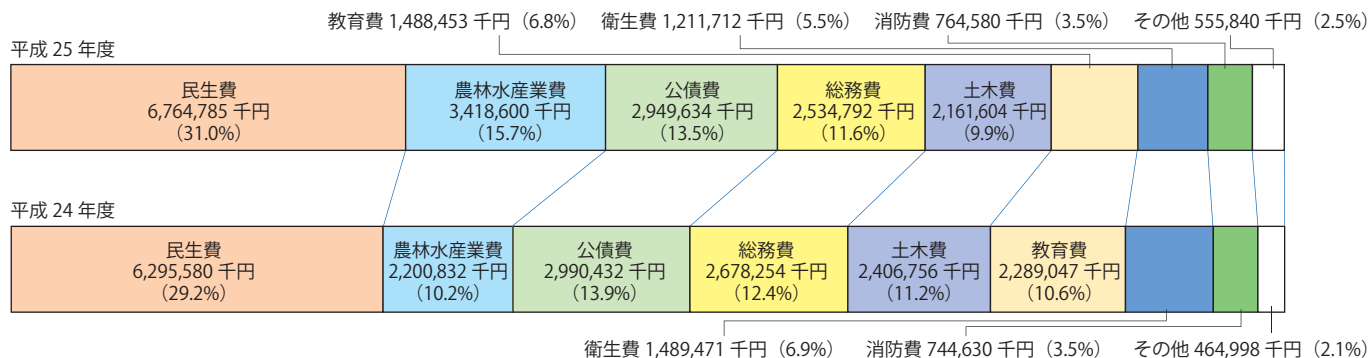
歳出の性質別分類の状況



歳入の状況



歳出の目的別分類の状況







曾於市の平成25年度当初予算は、平成25年第1回市議会定例会で3月26日に可決しました。











この予算は、「活力に満ち、心豊かでいつも夢と希望のもてる元気な曾於市の創造」を目標に、旧3町の均衡ある発展を図るための施策の実現に向けて取り組むことを基本方針とし、少子高齢化対策や保健予防・健康づくりの推進、住みよい安全・安心なまちづくり、農業や商工業等の産業振興、観光施設の整備、市道や公営住宅等の社会生活基盤の整備、教育の振興・充実に重点的に取り組む予算として編成しました。また、一般会計当初予算の総額は、218億5千万円で、平成24年度と比較して2億9千万円、1.3%増の予算です。しかしながら、市税等の自主財源の大幅増は見込めないことから、一般財源の不足額約9億6500万円を財政調整基金等の取り崩しで対応しました。また、「曾於市」が限りなく発展していくために、中長期的な視点に立った財政計画を基に歳出の合理化・効率化・重点化に努め、曾於市総合振興計画等の各種主要計画を基本にしながら、財政運営の健全化に取り組んでいくこととしています。

今回は、その内容について概要をお知らせします。

市民一人あたりの予算

平成 25 年 4 月 1 日現在の住民基本台帳人口 (39,538 人)

市民 1 人当たりの市税負担額 総額 72,331 円	
市民税 26,780 円	固定資産税 37,169 円
	
軽自動車税 3,232 円	たばこ税 5,150 円
	

市民一人あたりの予算額 総額 552,633 円 (主なものは下記のとおりです。)				
議会費 5,363 円	総務費 64,110 円	民生費 171,096 円	衛生費 30,647 円	農林水産業費 86,464 円
議会の運営に要する経費。 	職員管理、庁舎や財産の管理、選挙、戸籍及び市税の賦課徴収等の行政運営全般に要する経費。 	子どもや高齢者、障がい者などへの福祉関係全般の事業に要する経費。 	保健衛生や環境等の健康で衛生的な生活環境を送るために要する経費。 	農業や畜産業、林業等の振興のための事業に要する経費。 
商工費 7,016 円	土木費 54,671 円	消防費 19,338 円	教育費 37,646 円	公債費 74,602 円
商工業の振興や観光振興、企業誘致を推進するために要する経費。 	道路や橋、河川、公園等住環境を整備するために要する経費。 	火災や風水害等の災害から市民の生命と財産を守るために要する経費。 	学校や教育施設の整備、教育や生涯学習、文化、スポーツ等の振興のために要する経費。 	市の借入金の返済に要する経費。 

平成 25 年 4 月 1 日現在の住民基本台帳人口 (39,538 人) で、市民一人当たり換算してみると、歳入のうち「市税」は、市民一人当たり 72,331 円の負担となりました。歳出を目的別にみると、市民一人当たりに使われるお金は、総額で 552,633 円となりました。最も多いのが、子どもや高齢者、障がい者など福祉のための予算 (民生費) であり、農業振興のための予算 (農林水産業費) やこれまでに道路や建物等の施設整備のため借りたお金の返済のための予算 (公債費)、総務費、土木費などの構成比が大きくなっています。また、平成 24 年度と比較すると民生費や農林水産業費が増となり、土木費や教育費が減となっています。

皆さんから納めていただく市税と事業などに使われるお金では、一人当たり 480,302 円の差となっていますが、この不足額の大部分が「地方交付税」や国・県からの支出金、市債などでまかなわれることとなります。

曾於市を一般家庭にたとえてみると

国をはじめ地方自治体の財政状況が厳しいといわれる中、曾於市の財政はどんな状況でしょうか？

平成 25 年度一般会計予算の収入と支出の状況について、一世帯あたりの平均所得である年額 538 万円 (平成 22 年国民生活基礎調査より) の家計に置き換えてみました。収入は、月収とパート等の副収入を合わせて 94 万 4 千円ですが、食費や光熱費、家族の医療費、子どもへの仕送り、町内会費、ローンの返済や古くなった家の改築費などの費用のため、支出額は 538 万円となっています。

そのため、親からの仕送り (国や県等からの補助金) に頼ったり、銀行からの借金 (市債) や預金 (基金) の引き出しによって、やり繰りをしています。

収入				支出		
	項目	金額	構成比	項目	金額	構成比
自主財源	給料 (市税)	70 万 4 千円	13.1%	食費 (人件費)	77 万円	14.3%
	パート収入やアパートの家賃収入等 (使用料手数料、雑収入等)	24 万円	4.5%	光熱水費、日用雑貨 (物件費)	65 万 2 千円	12.1%
	預金の取り崩し (繰入金)	23 万 8 千円	4.4%	医療費 (扶助費)	88 万 6 千円	16.5%
	前年度からの繰越金 (繰越金)	1 万 2 千円	0.2%	ローンの返済 (公債費)	72 万 6 千円	13.5%
財依存	親からの援助 (地方交付税、国県支出金等)	314 万 3 千円	58.4%	子どもへ仕送り (繰出金)	59 万 8 千円	11.1%
	借金 (市債)	104 万 3 千円	19.4%	家の新築増改築費、自動車等の購入 (投資的経費)	114 万 4 千円	21.3%
	合計	538 万円	100.0%	自治会費、サークル費 (補助費等)	43 万 6 千円	8.1%
				定期預金 (積立金)	9 万円	1.7%
				家などの修理 (維持補修費)	7 万 1 千円	1.3%
				予備費	7 千円	0.1%
				合計	538 万円	100.0%

※ () は、予算上の区分を表しています。

活力に満ち、心豊かでいつも夢と希望の持てる
元氣な曾於市の創造を目指す

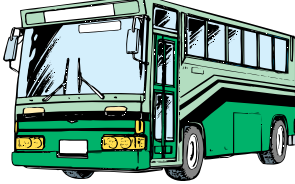
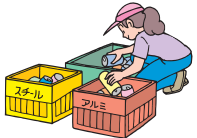



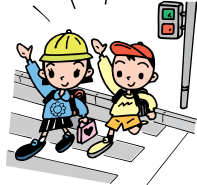

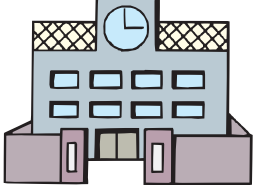


5つの主要施策



電子黒板を利用した授業風景

分野ごとの主な事業は下記のとおりです。

(単位:千円)

快適で安心してくらせるまちづくり【都市基盤・生活環境】		
道路交通体系の整備	ごみ処理及びし尿処理対策	住環境の整備
市道や排水路等の改良費 1,204,155 思いやりバス等の交通対策事業 78,483 	ごみ減量対策費 154,189 クリーンセンター管理費 140,224 合併浄化槽設置整備事業(個人型) 63,560 合併浄化槽設置整備事業(市町村型) 110,200 公共下水道整備事業 58,000 	財部地区公営住宅建設事業 55,783 地域振興住宅建設事業 125,240 財部正ヶ峯団地改善事業 32,528 危険廃屋解体撤去補助事業 16,500 住宅リフォーム促進補助事業 10,500 定住住宅取得促進事業 11,000 
自然環境の保全・活用	消防・防災の充実	交通安全・防犯・消費生活相談の強化
小規模水道施設整備事業 1,000 簡易水道創設整備事業 9,400 	大隅曾於地区消防組合負担金 496,361 消防団活動費 147,967 財部中央分団消防車購入 30,000 財部南分団消防詰所整備事業 26,704 防火水槽設置整備事業 31,969 	交通安全施設整備事業 19,687 地域交通安全対策事業 1,758 消費生活相談の実施 2,392 
個性豊かな教育と文化のかおるまちづくり【教育・文化】		
人生を豊かにする生涯学習の推進	学びを支える安全・安心な教育環境	新しい時代に生きる力をはぐむ学校教育の充実
生涯学習推進費 14,144 山中貞則顕彰記念事業 54,750 図書館図書の購入 10,000 	財部中学校整備事業 45,273 地産地消振興事業 2,919 柳迫小屋内運動場改築設計 11,000 	ALT 語学指導事業 14,370 学校教育 ICT 支援員派遣事業 4,925 そおっ子の夢育み支援事業 1,302 そおっ子の学力向上プラン 5,668 特別支援教育支援員配置事業 28,798 学習指導補助員設置事業 16,372 <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">夢実現</div>
共に学び触れ合う社会教育の充実	文化財保護と芸術文化活動の充実	地域に根ざした生涯スポーツの推進
チャレンジ・ザ・日本一研修事業 1,032 青少年海外研修派遣事業 3,472 青少年リーダー研修事業 950 「曾於元氣だそお」ふるさと事業 6,710 	恒古城跡保存整備事業 2,094 埋蔵文化財発掘調査事業 27,404 自主文化事業の開催 26,305 吉井淳二記念展の開催 3,300 第30回(2015)国民文化祭の準備費 278 	スポーツ大会等の実施 4,235 ・どろんこ大会の開催 ・カヌー大会の開催 ・健康づくり駅伝大会の開催 ・北別府学野球フェスタの開催 